

特集：最高裁判決を読み解く！－協同組合グロブ事件－ 2

日報などの正確性確認手段の実効性などに考慮を求める

事業場外みなし労働時間制の有効性などを争った最高裁判決が出た。特集では、本件最高裁判決の読み解き方について弁護士の家永勲氏に解説いただく。家永氏は、「事業場外労働のみなし労働時間制の適用可能性を完全に否定する必要はない」という考え方を示したものとしている。

データファイル	◆令和5年「労働安全衛生調査（実態調査）」 34 “メンタル不調で1カ月以上休業”は13.5% 厚生労働省調べ
好評連載	◆日々去来～全国ハローワーク探訪～ [830] 42 求人者・求職者のベストマッチングを目指して 和歌山・湯浅公共職業安定所 小林伸行
	◆ジョブ型時代の職務分析のススメ [16] 46 ジョブ型人事（職務給）の企業事例⑥ 特定社会保険労務士 永田幸江
	◆仕事と介護の両立メソッド [5] 54 両立支援の進め方 特定社会保険労務士 新田香織
	◆職場トラブル解決のヒント！ [123] 60 ヒアリング調査とメンタル疾患 弁護士 岸田鑑彦

ニュース	過去最高の50円を提示、全国平均1054円（24年度地域別最賃額改定で中賃が目安を答申）／今年度中に労働者調査など実施へ（解雇無効時の金銭救済制度検討に向け）／監督行った事業場の8割で法令違反（厚労省・令和5年度の監督指導結果）／“いじめ・嫌がらせ”相談が12年連続首位（個別労働紛争解決制度の施行状況）／“能力不足を感じる時”がストレスに（産能大総研「新入社員会社生活調査」）／社労士試験直前に受験対策（労働調査会、東京と大阪でセミナー開催）／今月の資料室 20 < Labor Radar vol.151 > 24
労務相談室	委員長に製造部門の課長を選出／労働組合として法的に問題ないか 62
読者アンケート 45
編集後記 64